

山梨県文学館協議会 令和3年度資料一覧

1. 文学館活動報告と予定
2. 指定管理者(SPS 桔梗屋 KBS 共同事業体)
3. 教育普及事業について
4. 資料情報課事業について
5. 観覧者、利用者について
6. 協議会委員名簿、館組織図、根拠法令

山梨県立文学館活動報告と予定 (概要)

本館に求められるもの

県民の価値観の多様化・余暇活動の関心の高まりとともに、心の豊かさや生きがいを求めて、文化活動に対する質の向上やユニークな高くと高く、幅広いものとなってきている。このようなか、文学に対する知識・教養の向上に寄与することを目的として設置されている山梨県立文学館には、次のものが求められている。

【展示/見る】文学史に関する作家と作品を紹介する企画展や特設展と、山梨県出身、ゆかりの文学者を展示する常設展示の一層の充実をはかる。

【教育普及/学ぶ】生涯学習、教育課程における学習など、多様な学習機会の提供、本県における文学、創作活動の充実、発展、その場の提供。

【資料情報/収集・保存・公開】山梨県にゆかりのある作家の作品(資料)を収集保存し、活用する。

【付加価値・魅力/楽しむ】本来の文学館機能に加え、付加価値を充実させ、より魅力ある「楽しい場」の創造と提供。

令和3年度の活動 (報告)

【展示/見る】〈魅力ある展示へ〉常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開(常設展) 山梨の文学者を紹介。第1~4室は年4回の展示替えに加え、期間限定公開コーナーを設置

春: 信玄公生誕500年関連展示 夏: 山梨の現代作家 林真理子

秋: 山梨の現代作家 社村深月 冬: 山梨の現代作家 神永 学

第5室は年2回、前後期に資料の入れ替えを行う。

(春の特設展) 作家の愛用品 4月~6月

(夏の特設展) 文学の中の富士山 7月~8月(8月8日からの臨時休館により会期中で中断)

(秋の企画展) ミステリーの系譜 9~11月

*会期中、学芸員のナイトミュージアムギャラリートーク、日曜昼間のギャラリートークを計5回実施(新収蔵品展) 手書きは語る 作家のころ 令和4年1月~3月

【教育普及/学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

(年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・ワークショップ・企画展関連講演会・チャレンジャー文学館・ジュニアインタンク・展示解説・講師派遣・移動文学館・教員研修会 等)

*「ZINE」ウェブメディア「ZINE」作り教室」で参加者が制作したZINEと、大学生が制作した

ワークショップ「小さな本「ZINE」作り教室」で参加者が制作したZINEと、大学生が制作したZINEをそれぞれ持ち寄り2階ロビーで展示し希望者に配布。

(第30回やまなし文学賞) 6~11月募集。令和4年3月2日結果発表予定。

【資料情報/収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

資料を手に取り文学者を身近に感じることができよう機会を提供

(閲覧室資料紹介) 文学の中の武田信玄/富士山に魅せられた作家たち/ミステリーの世界/

生誕100年 矢崎源九郎を読む

(文学者の誕生日にちなんだ資料紹介) 土橋治重/熊玉徳平/与謝野晶子/井伏鱒二/曾根崎保太郎

(閲覧室トーク) 何年の書庫見学は中止し、職員によるトークイベントを4回実施。11月~12月

(レファレンス・調査相談対応・コピーサービス対応) レファレンス事例のホームページ公開を開始

【付加価値魅力/楽しむ】〈魅力ある文学館〉

(芸術の森公園整備) 樹木の伐採による景観整備、バラ園・ポタリ園の拡張、園路の整備などを実施

(芸術の森公園活性化事業) 「フォトスポット in 芸術の森公園 秋はカラフル&ミステリー」11月3日

(指定管理者・SPSやまなし自主事業) 芸術の森公園ガイドツアー、文学館ガイドツアー、カフェでの

オリジナルメニュー提供、「ミステリーの系譜」展に併せてARフォトフレームコンテンツの提供、

JR・県観光推進機構との連携等による積極的な広報、インスタグラム等SNSを活用した広報を実施。

(飯田蛇笥・飯田龍太文学碑前祭) (山梨文化振興会と山梨県が共催) 俳句の募集・表彰

令和4年度の活動 (予定)

【展示/見る】〈魅力ある展示へ〉常に新しい資料の常設展と魅力あるテーマの企画展を展開(常設展) 山梨の文学者を紹介。第1~4室は年4回の展示替えに加え、期間限定公開コーナーを設置。

春: 山梨の現代作家 保坂和志 夏: 李良枝 翌後30年

秋: 檀一雄 生誕110年

ほかに、林真理子・社村深月など現代作家のコーナーを予定

第5室は年2回、前後期に資料の入れ替えを行う。

(春の特設展) 芥川龍之介展 生誕130年(仮称) 4月~6月

(夏の特設展) 文芸雑誌からZINEへ(仮称) 7月~8月

(秋の企画展) 樋口一葉展 生誕150年(仮称) 9月~11月

【教育普及/学ぶ・創る】〈文学に親しみ、文学をたのしみ、考える機会の提供〉

社会教育、学校教育と連携をはかりつつ、年間を通じて、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

(年間文学講座・名作映画鑑賞会・朗読公演会・文学創作教室・ワークショップ・特設展、企画展の関連事業・チャレンジャー文学館・ジュニアインタンク・展示解説・講師派遣・移動文学館・教育センターと共催の教員研修会、県内校長会・国語部会への利用説明 等)

(第31回やまなし文学賞)

【資料情報/収集・保存・公開】〈資料の保存と公開〉

資料を手に取り文学者を身近に感じることができよう機会を提供

(閲覧室資料紹介) 芥川龍之介再発見/文芸誌・同人誌いろいろ/今に生きる一葉

(山梨の文学者資料紹介) 信玄公祭り関連事業文学者が描く武田信玄と武田家/

(閲覧室トーク) 職員によるトークイベントを年間4回実施。

(レファレンス・調査相談対応・コピーサービスの対応)

【付加価値魅力/楽しむ】〈魅力ある文学館〉

(芸術の森公園活性化事業)

(指定管理者・SPSやまなし自主事業) 芸術の森公園ガイドツアー、文学館ガイドツアー、JR・

県観光推進機構との連携等による積極的な広報、インスタグラム等SNSを活用した広報の実施等

令和3年度 企画展・特設展など(実績)

展覧会名	会期	日数	観覧者数	内 容	備 考
1 特設展 作家の愛用品	令和3年 4月24日(土) ～ 6月20日(日)	50日間	2,709人	作品の執筆や、日常生活、趣味など、作家が様々な場面で愛用した品から、作家の暮らしや作品に思いを馳せ、作家を身近に感じてもらう展覧会です。樋口一葉の髪飾りからは、和装の姿が思い浮かびます。芥川龍之介の革製の財布、飯田蛇笏の句会用の硯、太宰治が甲府空襲で避難するときに持ち出したノート、深沢七郎が大切にしたギターなど、当館で収蔵する作家の愛用品を、そのエピソードや作品とともに紹介しました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2 特設展 文学の中の富士山	7月17日(土) ～ 8月29日(日) 8月7日(土)で開幕 (8月8日～9月12日閉 館)	33日間 (実質19日 前)	1,005人	富士山は、古来より詩歌や散文などの文学作品に数多く描かれてきました。本展では、芥川龍之介が旧制第一高等学校時代に書いた「富士山」作文原稿、太宰治が井伏鱒二に宛てた「富嶽百景」に関する手紙、中村星湖の小説「少年行」原稿、草野平平の詩と絵画など、直筆資料を中心に展示。作家が表現した個性豊かな富士山の姿を、「暮らし」「ヒューズポット」「アウトドア」など身近なテーマを通して楽しんでいただきました。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3 企画展 ミステリーの系譜	9月18日(土) ～ 11月21日(日)	57日間	5,599人	卓抜な着想とトリックで傑作を書き、日本の探偵小説を牽引した江戸川乱歩(1894～1965)。金田一耕助シリーズで本格的な長編推理小説の興盛へと導く横溝正史(1902～1981)。「人生の阿呆」で直木賞を受賞し、「探偵小説」を深化させた「推理小説」という名称を提唱した甲府市出身の木々高太郎(1897～1969)。日本のミステリー(推理小説)の草創期から現代までをたどり、その魅力と人気の秘密を探りました。	自主企画
4 新収蔵品展 手書きは語る 作家のころ	令和4年 1月29日(土) ～ 3月21日(月・祝)	45日間		2020(令和2)年から2021(令和3)年にかけて当館で新たに収蔵した資料の中から、推敲の跡が見られる原稿、親しい人に宛てた書簡、個性豊かな筆跡の書画など、執筆時の作家の心境が垣間見られる資料を紹介。夏目漱石や芥川龍之介の書簡、井伏鱒二や津島佑子の原稿、飯田蛇笏の俳句軸装などをご覧いただけます。また、登山家・田部重治旧蔵の書簡、献呈本等も展示。小説、俳句、詩歌、山岳文学など様々なジャンルの文学資料を紹介する展覧会です。	自主企画 ・観覧料無料で公開

令和4年度 企画展・特設展（予定）

	展覧会名	会期	日数	内 容	備 考
1	特設展 芥川龍之介展 生誕130年(仮称)	令和4年 4月23日 (土) ～ 6月19日 (日)	51日間	大正期の文学を代表し、機知に富んだ発想と多彩な形式、均整のとれた文体で数々の短編小説の名作を残した作家・芥川龍之介(1892～1927 東京生まれ)。生誕130年を記念して、日本有数の当館の芥川コレクションを中心に、芥川の魅力を紹介します。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
2	特設展 文芸雑誌からZINE(ジン)へ(仮称)	7月16日 (土) ～ 8月28日 (日)	39日間	小・中学校時代の芥川龍之介が友人とともに手書きで作った回覧雑誌や、大宰治が学生時代に仲間と発行した「細胞文藝」など、作品発表の場となってきた文芸雑誌。一方、現代では若年層を中心にテーマや表現方法など自由に構成する雑誌「ZINE(ジン)」の創作が、世界各地に広がっています。近代文学を彩ってきた文芸雑誌や、進化を続ける「ZINE」の現状を紹介します。	自主企画 ・常設展の一環として開催。
3	企画展 樋口一葉展 生誕150年(仮称)	9月17日 (土) ～ 11月23日 (水・祝)	59日間	樋口一葉(1872～1896)は、逆境のなか職業作家としての道を切り開き、24年の短い生涯に「たけくらべ」「ごりえ」など、近代文学史に残る名作を残しました。両親が山梨県甲州市塩山出身で、甲州の親戚や知人との交流、山梨を舞台にした作品の執筆など、山梨と深い関わりがあります。本展では激動の時代を生きた一葉の生涯と作品の魅力に迫ります。	自主企画

令和3年度 文学館協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園 指定管理者

SPS・桔梗屋・KBS共同事業

◆ 目次

- ▶ 1. 指定管理第3期の運営方針
- ▶ 2. 新たな魅力の発掘と発信
 - ① 展覧会観覧誘致のための広報活動
 - ② 観光資源としての魅力アピール
- ▶ 3. カフェの取り組み
- ▶ 4. 安心・安全な施設の維持管理
- ▶ 5. 令和4年度に予定している活動（予定）

1. 指定管理第3期の運営方針

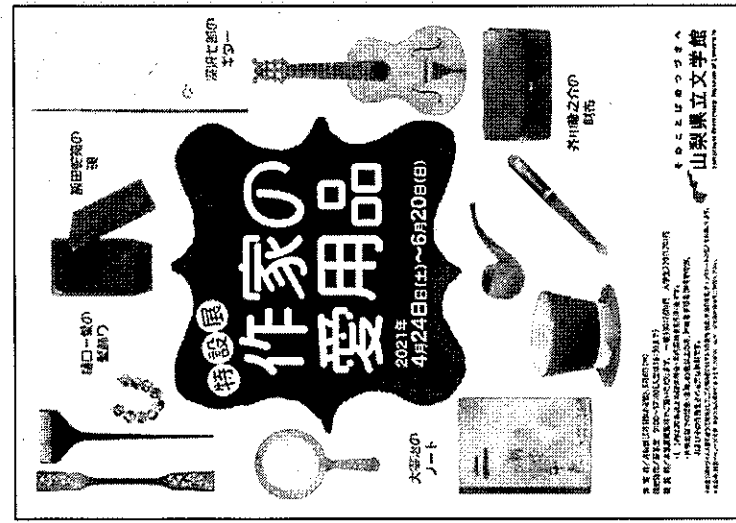
指定管理第3期（4年間）の運営方針

- 施設の新たな魅力の発掘と発信
観光資源としての魅力をアピール
県民の文化芸術活動と交流の場としての利用促進
- 地域連携を通じ文化芸術を拡げる
地元企業や団体等との強固な関係構築
賑わいの創出による地域の活性化
- 安心・安全な施設管理の強化
施設維持管理会社が共同事業体へ参画
効果的・効率的で安定した施設管理

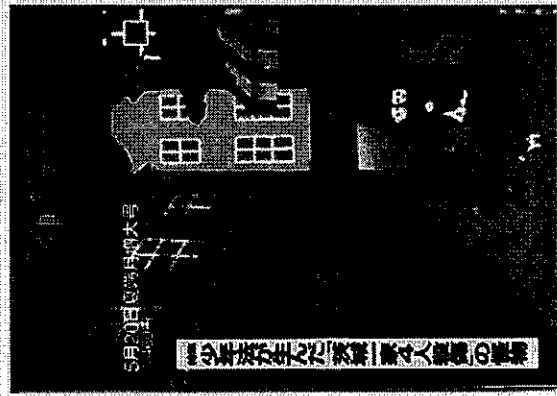
2. 新たな魅力の発掘と発信 ー①展覧会観覧誘致のための広報活動

● 作家の愛用品展（4月24日～6月20日）来館者：2,709名

NHK甲府や週刊新潮などのメディアを活用した広報活動や、FM富士を活用した宣伝活動を週刊新潮については、オンラインリリースの配信が奏功し、記者が興味を持ったことで「文士たちが愛したとおきカタログ」の記事化に繋がった。



文士たちが愛したとおきカタログ



5/20号 週刊新潮掲載 (3ページ)
※発行部数40万部

2. 新たな魅力の発掘と発信 ー①展覧会観覧誘致のための広報活動

● 文学の中の富士山展（7月17日～8月7日 ※8/8～29臨時休館） 来館者

夏休み期間を活用した集客を強化するため、プレスツアーを実施。マスメディアを活用した広報活動を行った。また、美術館で同時期開催中だった「蜷川実花」展からの誘客を目指し、林真理子氏の関連書籍（蜷川氏作品表紙）の展示をするなど相乗効果を狙ったものの、会期中で閉幕となった。

特設展 文学の中の富士山

2021年 7月17日(土)～8月7日(日)

作家のおすずめ ビューズセット

山梨の暮らしから生まれた文学

富士山タイムスリップ

作家とアウトドア

富士山とわたし

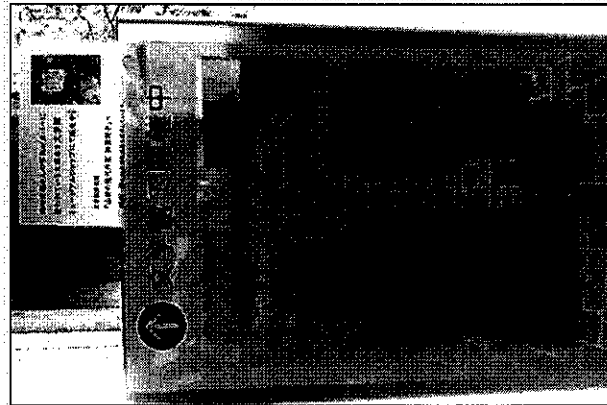
山梨県立美術館

山梨県立美術館

霊峰に魅せられた作家たち

県立文学館特設展 原稿や書簡100点

山梨県立美術館



プレスツアー参加
・NHK甲府
・山梨日日新聞社
・やまなし観光推進機構

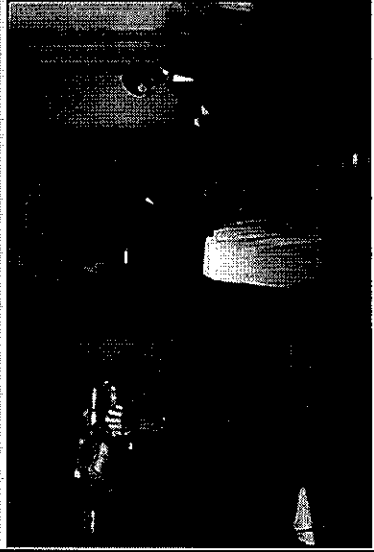
美術館からの誘客看板

山梨日日新聞

2. 新たな魅力の発掘と発信 ー①展覧会観覧誘致のための広報活動

● ミステリーの系譜展 (9月18日～11月21日) 来館者：5,599名

テレビ山梨にCMを作成を依頼し、宣伝活動を実施。連動して、番組内でも紹介コーナーを作
誘客に繋げた。また、高校生にも人気の高い文豪ストレイドックスとのコラボもあることから県内の
私立中高にチラシの配布を行った。

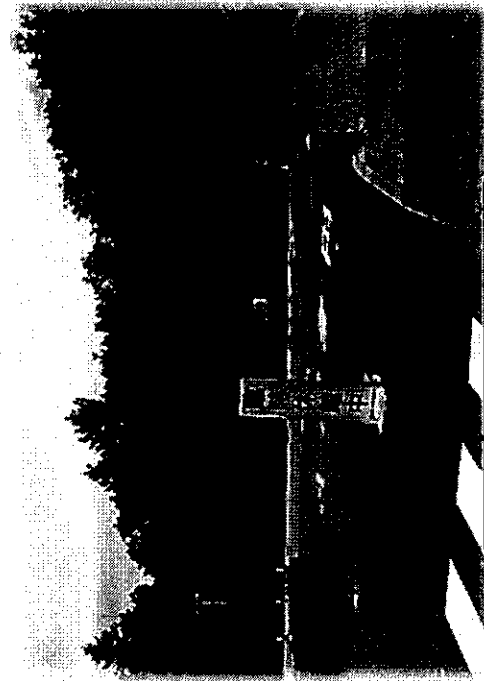


10/18テレビ山梨「スゴろく」中継

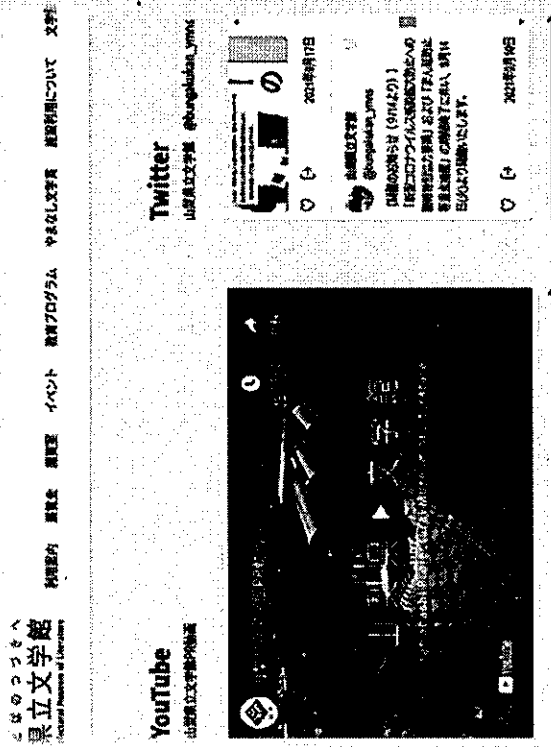
2. 新たな魅力の発掘と発信 — ① 展覧会観覧誘致のための広報活動

● 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館と再開

8月8～22日の間、山梨県知事からの「臨時特別協力要請」により、臨時休館が決定。その後、「まん延防止等重点措置」が発出され9月12日まで休館を延長した。休館中も電話対応を継続し、「再開はいつか?」「公園の利用は可能か?」「前売券を購入したかどうか?」等のお問合せが美術館・文学館に300件以上あった。休館や再開の決定時にはホームページやSNSで周知を行い、速やかに情報を提供。感染症対策を継続しながら運営を再開した。



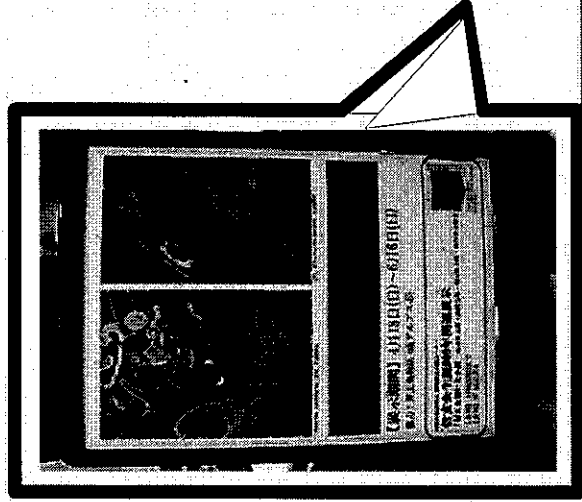
第一駐車場入口揭示



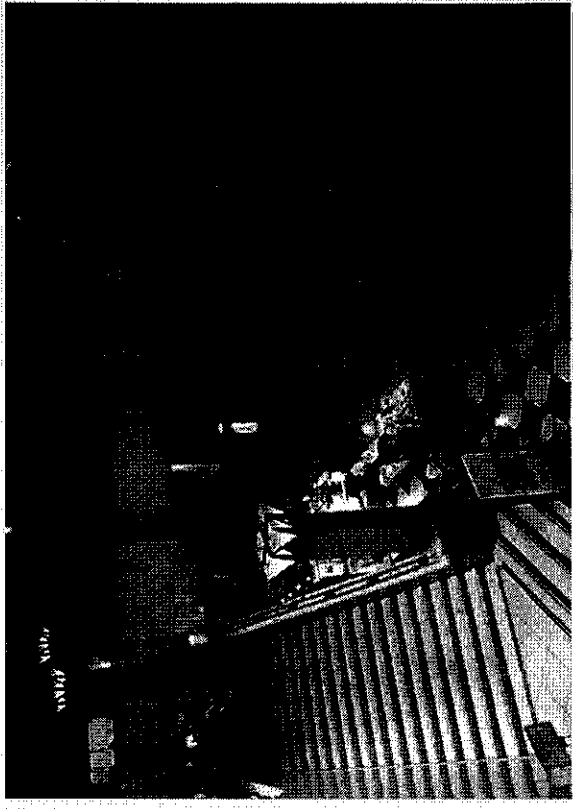
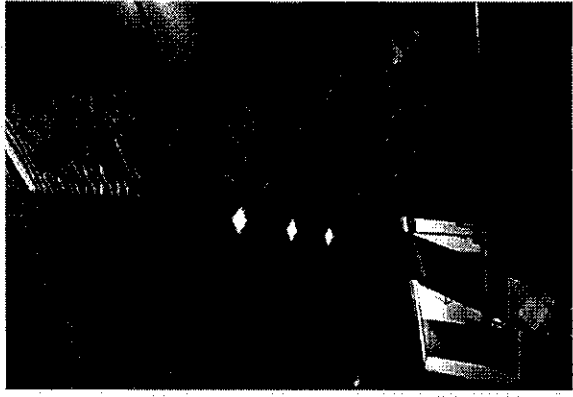
2. 新たな魅力の発掘と発信 ー②観光資源としての魅力アピール

● 山梨県郷土伝統工芸品甲州武者幟・鯉のぼり展示 (4/18~6/6)

こどもの日に関連した展示を企画。南アルプス市で江戸末期から続く「井上染物店」に協力いた「甲州武者のぼり・鯉のぼり」をエントランスホールの壁面・天井に設置した。展示室で開催中の「信玄公生誕500年関連展示」に合わせて、武者幟は武田信玄と上杉謙信描かれている「川中島合戦」とし、関連性を持たせた。来館者からは、天井や壁面を見上げて季節の風物詩を楽しんでいる様子が窺えた。



甲州武者幟「川中島合戦」



鯉のぼり (赤 : 4.5m 青 : 9m)

2. 新たな魅力の発掘と発信 ー②観光資源としての魅力アピール

● 展覧会関連イベント

【作家の愛用品展 6/6実施 参加19名】

特設展「作家の愛用品」に展示されている檀一雄の愛用品「ワインボトルの籠」にちなみ、クラフトバンド（紙テープ）とボンドを使ったかご編み体験のワークショップを実施した。「ワインボトルの籠」を巡る檀一雄のエピソードや著書を紹介する冊子を配布し、参加者の興味関心を持設展へ向けるようにした。



◎「籠」は作家の愛用品として知られていて、特設展「作家の愛用品」展「籠」の展示品として、ワインを入れる籠を展示しています。ワインの籠には、名前と同じ水伊勢酒（DAN）が常備されており、この籠を持ってお出かけするお気に入りのワインをお楽しみください。

◀「籠」の由来は、作家の愛用品として知られていて、特設展「作家の愛用品」展「籠」の展示品として、ワインを入れる籠を展示しています。ワインの籠には、名前と同じ水伊勢酒（DAN）が常備されており、この籠を持ってお出かけするお気に入りのワインをお楽しみください。



【文学の中の富士山展 7/25実施 参加37名】

今年6月にロボット競技（FL）世界大会で総合優勝を果たした、チーム「フアースト・フジサン」によるデモンストラーションを実施。世界大会の様子やこれまでの取り組みについても紹介し、チーム名には「富士山・山梨を世界中の人に知ってもらいたい」という願いが込められているなど、地元山梨への思いを語った。



2. 新たな魅力の発掘と発信 ー②観光資源としての魅力アピール

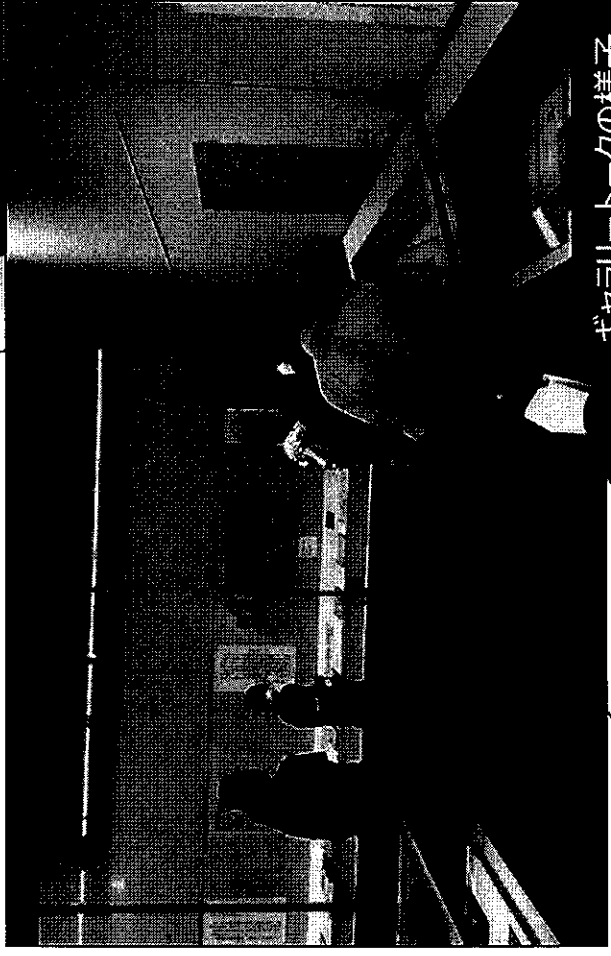
●ナイトミュージアムの開催 (10/15・11/19)

コロナ感染症拡大防止のため臨時休館があったが、県民の芸術に触れる機会損失にならないよう再開後に県が主催となりナイトミュージアムを開催した。午後6時30分からの開催で予約制とし、希望者には企画展の担当学芸員による解説が聞ける特別感を演出した。指定管理者も、監視要員の配置や手作りの和紙灯笼の飾り付け等を行い、運営のサポートと雰囲気づくりを行った。

【参加者数】10/15 5名 11/19 19名



灯笼の飾りつけ



ギャラリートークの様子

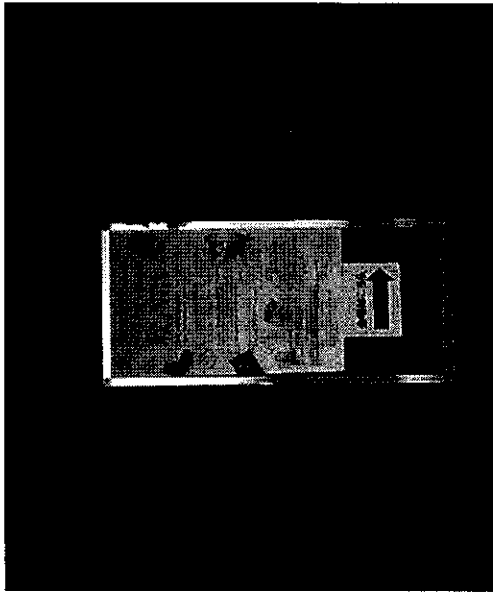
2. 新たな魅力の発掘と発信 ー②観光資源としての魅力アピール

● 開館記念日と素芯庵イベントの協力 (11/3)

11/3の開館記念日に、ご観覧のお客様に記念品のプレゼント (先着100名) を実施。事前に山梨日日新聞に広告を掲載し、県内へ向けて告知をした。また、同日文学館主催の素心庵イベント「カラフル&ミス터리」において、茶室の装飾とネイルアートの体験コーナーを設置し、イベント盛り上げた。

山梨県立文学館
開館記念日! 先着100名に記念品をプレゼントします

山梨日日新聞広告 (10/30)



ジャンボフラワー・フォトスポット



ネイルアート体験

2. 新たな魅力の発掘と発信 ー②観光資源としての魅力アピール

● 県民の日イベントの開催 (11/20)

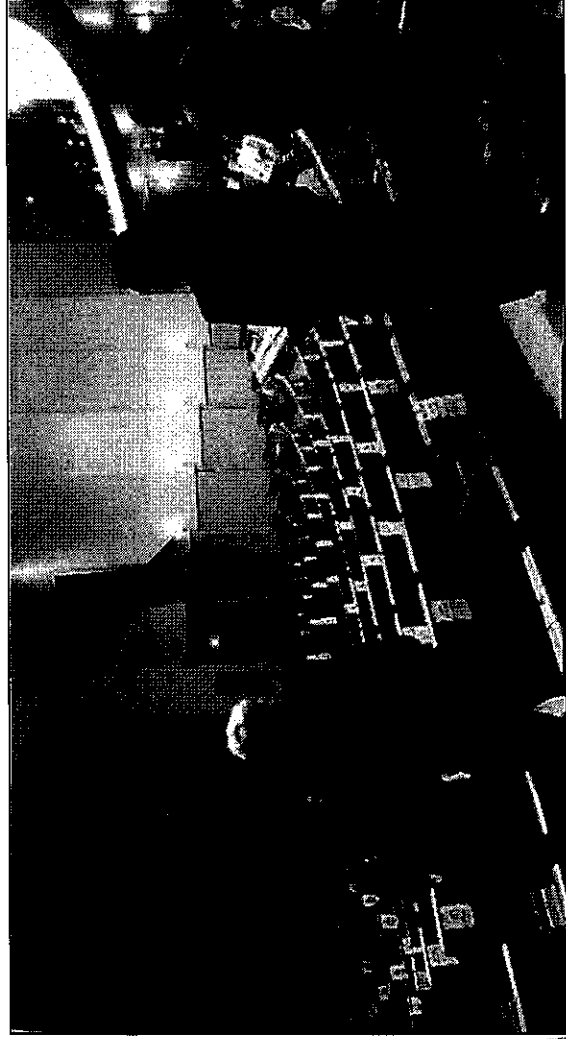
ミステリーの系譜展に関連づけ「足跡をたどって、文学館へGO!」と題して、美術館の玄関から文庫館まで「足あとシール」を設置する等、文学館に足を向けもらえる工夫をした。公園からの誘導として、紹介看板や「文豪ストレイドグス」の太宰治のスタンディ、ハニカムボールを設置した。また今回初めて、世田谷文学館からお借りた安西水丸氏のタペストリーも展示し、小さなお子様連れの方にも立ち寄りやすいようにした。(来館者数：常設展942名、企画展1,113名)



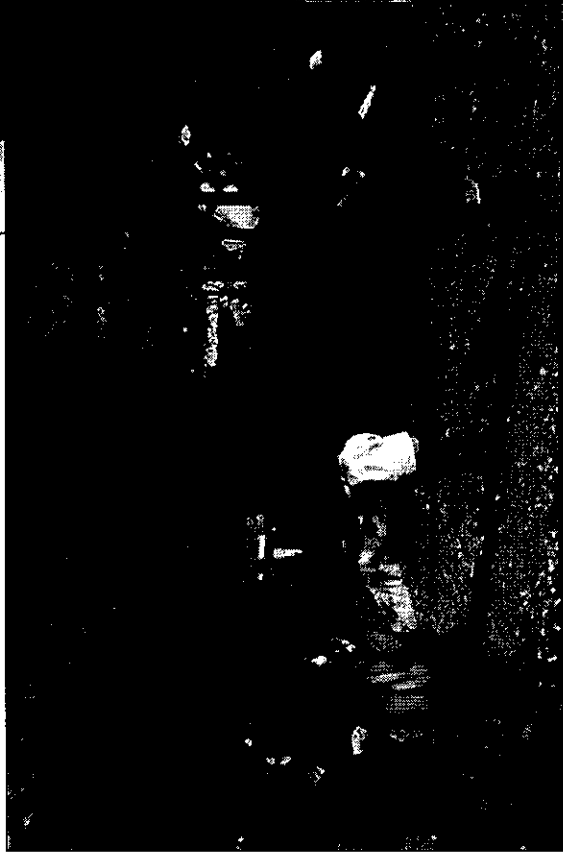
2. 新たな魅力の発掘と発信 ー②観光資源としての魅力アピール

● 県民の日ガイドツアーの開催 (11/20)

県民の日に文学館と公園を紹介するガイドツアーを2コース企画、実施した。文学館ガイドツアーは展示室内の資料だけでなく、講堂の緞帳やシンボルマークの由来などの豆知識も紹介。公園ガイドツアーでは今年度、改修されたバラ園、特徴的な樹木や文学碑など新たなスポットを紹介。参加者アンケートでは満足度はいずれも90%以上と高く、新たな情報を知ることができて興味深かった。高評価であった。



文学館ガイドツアー



公園ガイドツアー

3. カフェの取り組み

- カフェ 黒蜜庵きなご亭：展覧会の内容に合わせたメニューを用意

「文学の中の富士山」展

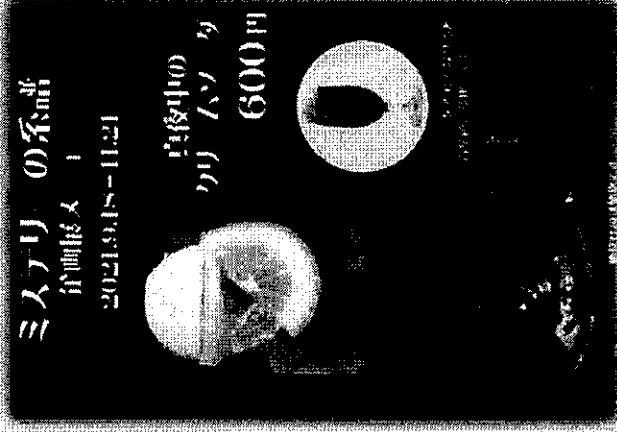
夏にぴったりの冷たいデザートとして「天然水の富士山かき氷」を提供。中にバニラアイスが入っており、富士山の雪に見立てた練乳は後がけして楽しむことができる。連日猛暑が続いており、家族連れでカフェが賑わった。



86食

「ミステリーの系譜」展

真夜中のクリームソーダは、赤いシロップを入れて混ぜると色が変わるというトリックを楽しめる。展覧会と合わせて広報した。

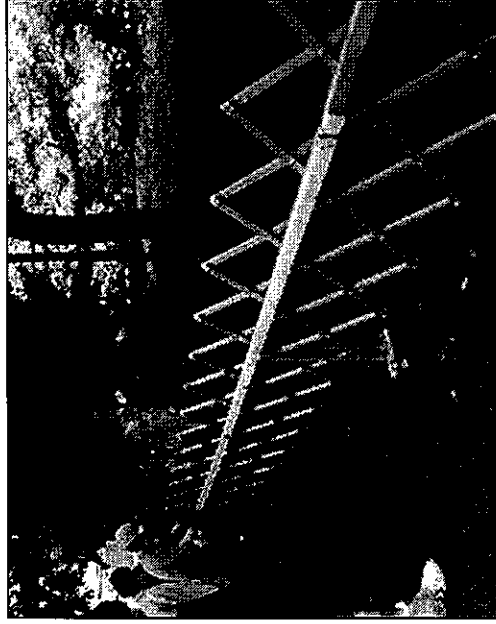


335食

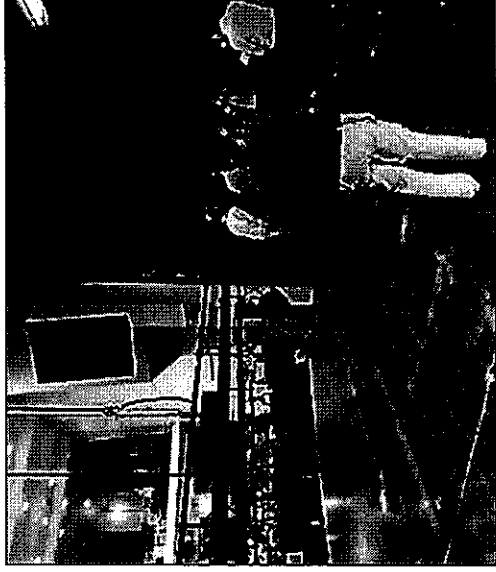
4. 安心・安全な施設の維持管理

● 講堂天井工事と貸館再開に向けた準備

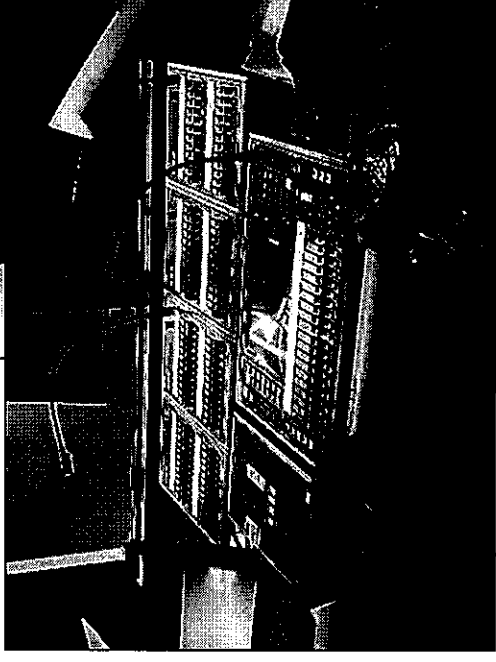
4月から講堂の改修工事が開始。職員駐車場に工事関係車両の出入りが多いことが想定されたことから、事故防止のためゲートを設置するなど安全対策を徹底した。天井の改修とともに、客席照明のLED化や調光設備の更新も実施。10月15日より貸出しを再開した。



職員駐車場前



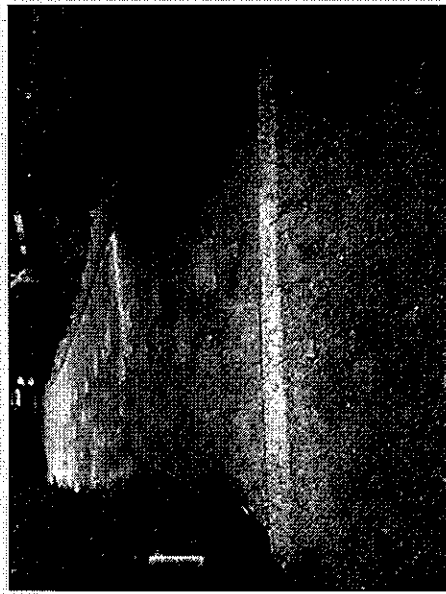
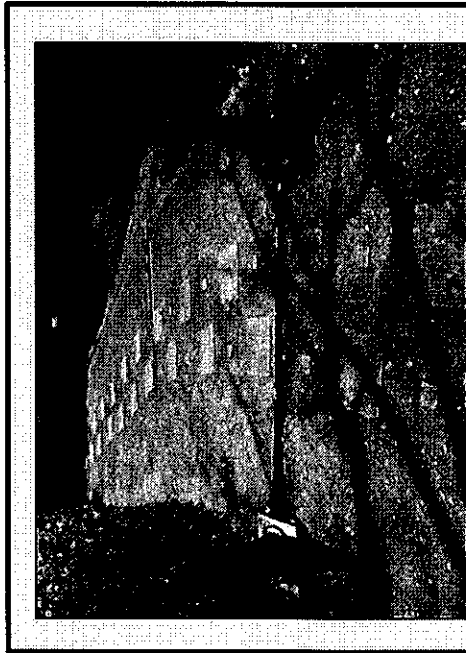
設備取扱い説明会の様子



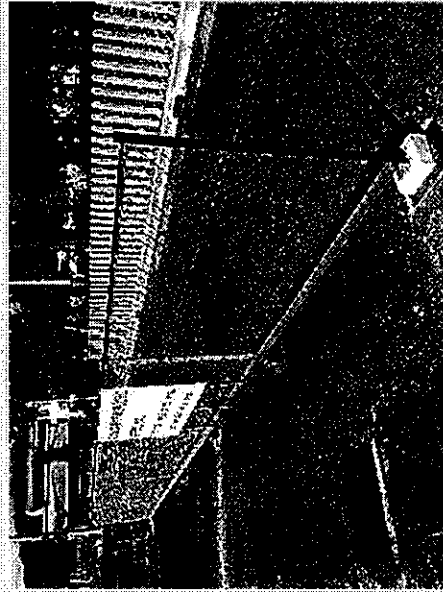
調光操作卓入替

4. 安心・安全な施設の維持管理

● 公園及び周辺施設の整備



公園内通路補修



第3駐車場フェンス補修



南館 蜂の巣駆除

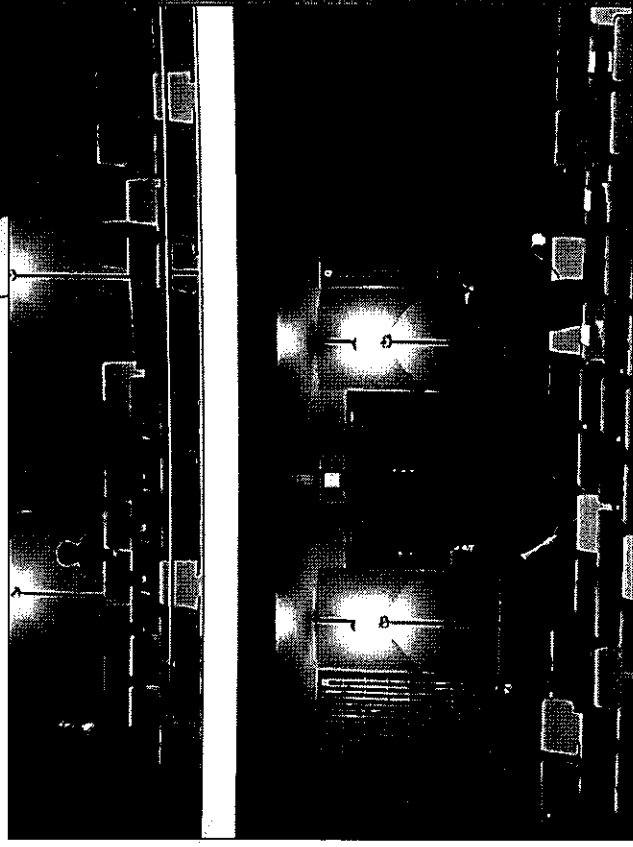
4. 安心・安全な施設の維持管理

● 光触媒コーティングによる感染症対策

講堂天井工事終了に伴い、講堂の椅子や手摺などに光触媒コーティングを施工することで、使用後の消毒作業のために設けていた貸出制限を撤廃。コロナ以前の貸出に戻すことができました。また、利用時間を短縮していた閲覧室のテーブル等にも同施工を行い、利用時間を通常に戻し



閲覧室施工の様子



講堂施工の様子

6. 令和4年度に予定している活動（予定）

広報・自主事業

- ▶ 特別展関連イベント
- ▶ 季節装飾
- ▶ ゴールデンウィークイベント
- ▶ 開館記念日イベント
- ▶ 県民の日イベント
- ▶ 芸森寄席
- ▶ ヴァンフォーレ甲府との連携イベント など

※新型コロナウイルス感染症の状況によってイベント実施の有無を判断します

令和3年度 教育普及事業について(令和3年12月末現在)

1 企画展・特設展関連事業

(1) 企画展 「ミステリーの系譜」 関連事業

月 日	事業名・演題	講 師	参加人数
10月23日	京極夏彦講演会 「探偵と民俗学者、そして陰陽師」	京極夏彦 (小説家)	210
合計			210

2 教育普及事業

(1) 年間文学講座

講 師	事業名・演題	月 日	人 数
長瀬由美	年間文学講座1 (全8回) 研修室 「古典文学入門」 *都留文科大学教授5名のリレー講座 14:00~90分	5月28日	34
		6月25日	37
加藤敦子		7月9日	28
		11月12日	27
佐藤明浩		9月24日	13
寺門日出男		10月22日	23
鈴木武晴		11月19日	12
		12月17日	16
小計			119
大村 梓 山梨県立大学 准教授	年間文学講座2 (全8回) 研修室 「ジャンルを超える文学の可能性」 14:00~90分	5月15日	23
		7月17日	21
		9月25日	29
		10月16日	38
		11月6日	15
		12月4日	23
		12月18日	16
小計			165
高室有子	年間文学講座3「山梨の文学」 *文学館学芸員による講座	6月27日	11
中野和子		9月19日	20
伊藤夏穂		10月10日	19
保坂雅子		11月28日	14
小計			64
合計			348

(2) 教師のための学習会

月 日	題 名	情 報	参加人数
6月3日	特設展 教師のための学習会①	「作家の愛用品展」について	4
10月21日	企画展 教師のための学習会②	「ミステリーの系譜」について	6
合計			10

(3) チャレンジクイズ

クイズ名	参加人数
チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」	1,048
文学の柱	192
企画展チャレンジクイズ	808
特設展チャレンジクイズ	661
合計	2,709

(4) 名作映画観賞会

月 日	題 名	情 報	参加人数
10月31日	悪魔の手毬唄	1977年 原作 横溝正史 監督 市川崑 出演 石坂浩二 岸恵子 若山富三郎 他	84
11月7日	影なき声	1958年 原作 松本清張 監督 鈴木清順 出演 南田洋子 二谷英明 金子信雄 他	85
合計			169

(5) 朗読講演会

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
12月11日	朗読「ベルベットのうさぎ」	紺野美沙子の朗読座	220
合計			220

(6) 文学創作教室

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
5月29日	短歌教室(講義)「初心者短歌教室」①	三枝 浩樹 (歌人、「沃野」代表)	20
7月3日	短歌教室(講義・実作)「初心者短歌教室」②	三枝 浩樹 (歌人、「沃野」代表)	18
7月11日	初心者小説創作教室①	川上 健一 (作家)	14
10月17日	初心者小説創作教室②	川上 健一 (作家)	13
9月26日	三枝昂之短歌講座	三枝 昂之 (館長)	32
11月13日	小さな本-ZINE (ジン) -作り教室	吉田 朝麻 (クリエイター)	18
12月12日	三枝浩樹短歌講座	三枝 浩樹 (歌人、「沃野」代表)	36
合計			151

(7) ワークショップ

月 日	事業名 演題	講 師	参加人数
5月16日	はんこ彫り (篆刻) をしよう	望月煌雅 (甲州手彫印章 伝統工芸士)	24
7月18日	スノードームをつくろう	穂坂 優 (ハンドメイド作家)	20
12月4日	ZINEフェスティバル	山梨県立大学生 (協力者)	90
合計			134

(8) ジュニアインターンシップ・職場体験学習

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
7月27日～29日	青洲高校	2年生	1
7月27日～29日	甲府城西高校	2年生	2
7月27日～30日	甲府東高校	1年生 (2名ずつ2日間)	4
合計			7

(9) 学芸員実習

月 日	学 校 名	情 報	参加人数
7月20日～25日	都留文科大学		1
7月20日～25日	東京農業大学		1
合計			2

(10) 文学解説 (展示解説、視察対応)

月 日	対象名・講座名等	対 象 者	参加人数
10月15日	企画展ナイトミュージアムギャラリートーク		5
10月17日	企画展ギャラリートーク		5
10月24日	企画展ギャラリートーク		4
11月13日	企画展ギャラリートーク		6
11月19日	企画展ナイトミュージアムギャラリートーク		8
合計			14

(11) 山梨の文学解説講座 (他会場への講師派遣事業)

月 日	講 座 名	対 象 者	参加人数
6月21日	第40回藤村学校 「講演と朗読～太宰治と甲府空襲」		30
7月5日	ことぶき勸学院 「日本の文学・古典」	ことぶき勸学院 北都留教室1年生	25
合計			55

(12) 小・中・高等学校文学教室 (出前授業)

月 日	学校名 (内容)	対 象 者	参加人数
6月9日	富士河口湖高校「山梨の文学を知る」	1年生	165
6月30日	中央高校「山梨を知る」	1年生 (午前部、午後部、夜間部)	59
7月6日	若草中学校「俳句を学ぼう～山梨の俳人」	3年5クラス	143
7月14日	吉田高校「短歌」	1年生	45
9月3日	甲陵中学校「短歌」	2年生	43
10月21日	山梨大学附属中学校①「短歌」	2年生	151
11月11日	山梨大学附属中学校②「短歌」	2年生	151
合計			757

(13) 小・中・高等学校教育課程対応（展示解説）

月 日	内 容	対 象 者	参加人数
4月13日	校外学習	南部中2年	50
4月27日	校外学習	市川南中2年	18
5月12日	校外学習	双葉中2年	11
5月13日	校外学習	八田中2年	6
5月14日	校外学習	高根中2年	12
5月20日	校外学習	東桂中2年	74
5月25日	校外学習	三珠中2年	14
6月1日	校外学習	貢川小6年	55
6月1日	校外学習	中央高校通信制	12
6月2日	校外学習	都留第一中2年	82
6月2日	校外学習	白根巨摩中2年	4
7月8日	校外学習	星槎国際高校	50
7月9日	校外学習	山梨大学付属中1年	4
7月14日	校外学習	富士河口湖高校1年	168
9月23日	校外学習	竜王北中2年	11
10月1日	校外学習	奥野田小5年	21
10月13日	校外学習	鯉沢中2年	8
10月22日	校外学習	須玉中2年	40
10月26日	校外学習	六郷中2年	26
10月26日	校外学習	武川中2年	4
11月2日	校外学習	甲府昭和高校1年	84
11月4日	校外学習	甲府昭和高校1年	83
11月9日	校外学習	甲府昭和高校1年	81
11月12日	校外学習	第一学院高校	13
11月18日	校外学習	壱崎東中2年	44
11月21日	校外活動	山梨大学付属小あおぎり吹奏楽団	30
11月21日	部活動	下吉田中学校文芸部	6
12月2日	修学旅行	湯河原学区小学校6年	158
合計			1,169

(14) 小・中・高等学校移動文学館（アウトリーチ）

月日	利用学校名	セット	対象人数
4月9日	中央高校	F	570
5月9日	中央高校	C	570
6月15日	笛吹高校	F	855
6月21日	禾生第二小	D	158
6月29日	中央高校	B	570
6月30日	中央高校	D	570
7月1日	白根御勅使中	F	230
7月1日	明野中	B	117
7月20日	中央高校	E	570
9月10日	押原中	F	637
9月14日	甲府北東中	A	297
9月14日	睦合小	D	115

9月21日	石田小	D	275
9月28日	御坂西小	D	575
10月1日	壘崎小	D	327
10月5日	武川中	F	69
10月5日	甲府昭和高校	E	801
10月12日	禾生第二小	C	158
10月20日	富沢小	C	112
10月20日	富沢小	D	112
10月21日	甲府北東中	B	297
10月27日	河口湖北中	F	99
10月27日	都留興譲館高校	C	508
11月5日	善誘館小	A	162
11月9日	甲府東中	D	354
11月9日	竜王中	F	430
11月25日	泉中	F	129
12月8日	甲府北東中	F	297
			9,964

利用教材 A：石川啄木セット B：龍太・蛇笏のちまちな人形セット C：花子とアン D：賢治と嘉内の友情セット E：芥川龍之介の夏休みセット F：文豪ストレイドッグスセット

(15) 外部共催研修

月 日	企画名	対 象 者	利用人数
7月27日	総合教育センターとの共催研修	小中・特別支援学校教員	12
合計			12

(16) 各種団体への普及活動

月 日	普 及 内 容	対 象 者	利用人数
4月15日	文学館だより（文学館利用報告等）	県内小・中・高等学校国語科主任宛	255
5月14日	東山梨地区校長会	学校長	29
5月18日	北都留地区校長会	学校長	18
5月27日	高等学校国語部会	高等学校国語科教員	44
6月3日	南都留地区校長会	学校長	43
6月3日	中巨摩地区校長会	学校長	50
6月4日	甲府地区校長会	学校長	39
6月7日	北巨摩地区校長会	学校長	25
6月15日	笛吹地区校長会	学校長	19
7月30日	峡南地区校長会	学校長	26
9月4日	文学館だより（文学館利用報告等）	県内小・中・高等学校国語科主任宛	255
合計			548

(17) 協力会読書会

月 日	作 品	対 象 者	利用人数
5月9日	森鷗外「雁」		5
10月3日	辻村深月「ロードムービー」		4
11月7日	シェイクスピア「オセロ」		4
12月12日	林真理子「花探し」		4
合計			17

3 やまなし文学賞

本賞は、平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して、山梨県の文学振興をはかり、日本の文化発展の一助とするために創設された。小説と、研究・評論の2部門を設けている。

選考委員 小説部門：坂上弘（2021年8月16日 逝去）・佐伯一麦・長野まゆみ
研究・評論部門：中島国彦・関川夏央・兵藤裕己

応募状況 小説部門応募者数……………216

研究・評論部門応募者数…121

合計 337

経過

令和 3年11月30日 作品募集締め切り
令和 4年 2月 8日 研究・評論部門選考会
2月15日 小説部門選考会
3月 2日 選考結果発表
3月 2日 選考結果発表
3月 表彰式中止（感染症拡大予防のため）

令和4年度実施予定教育普及事業の概要

事業名	事業説明
年間文学講座	年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう調整する。多くの方が参加できるように、平日のみならず、土・日も開講する。
山梨の文学講座	「山梨の文学講座」は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの文学と人についての講座を実施し、当館学芸員が講師を務める。
名作映画鑑賞会	有名な文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて、多くの県民とともに考える企画。平成2年から毎年実施。
朗読鑑賞会	県内外から講師を招聘し、文学作品(詩・小説など)の魅力を読誦によって鑑賞する企画。開館の年から実施し、毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。
山梨の文学解説講座	学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者の人と作品を紹介する講座。要望に応じ当館の研修室・講堂等あるいは市町村等に向いて講義をする。
博学連携事業	将来の山梨を担うことになる子どもたちに、優れた文学と文学者の存在に気付かせるきっかけを作ることを目的に、学校教育と連携し、文学館作成の指導資料を学校に貸し出す「アウトリーチ」、校外学習へのサポート、高校生を対象とした「文学創作教室」等を実施する。
就業体験(インターンシップ)	子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが、今日の課題となっている。文学館としても、中学生・高校生・大学生の職場見学やインターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。
教師のための学習会開催	県内の小・中・高校、特別支援学校の教師を対象に春と秋の企画展・特設展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、学校教育への活用を図る。
文学創作教室	魅力的な講師選定によって幅広い層に訴え、文学創作の裾野を広げ、文学理解を深めることを目的とする。俳句をはじめ短歌や詩などの創作を通じて文化活動を進進し、文字文化を担う人材育成を目的とする。高校生を中心に若年層の文学館への関心・理解も高めたい。
子どもワークショップ	子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じてもらう機会とする。各界で活躍する専門家を招くことで、子どもたちの多彩な分野での興味を広げていく。

令和3年度 資料情報課事業実施状況

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。
また、閲覧室の機能の理解と利用促進および資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
文学の中の武田信玄 各県立施設で行われる武田信玄生誕500年関連事業の一環として、武田信玄を描いた文学作品や関連資料を紹介する。	2021年 4月6日(火)～6月13日(日)
富士山に魅せられた作家たち 特設展「文学の中の富士山(仮称)」にあわせて、富士北麓の自然に親しみ、その風景を作品世界に綴った文学者たちの著作を紹介する。	2021年 7月24日(土)～8月7日(土) <small>※8月29日までの予定だったが、コロナウイルス感染状況悪化し、8月8日(日)～9月12日まで休館となり展示期間が短縮となった。</small>
ミステリーの世界 企画展「ミステリーの系譜(仮称)」にあわせて、日本を代表するミステリー作家の江戸川乱歩、横溝正史、木々高太郎の著作を紹介するとともに、ミステリーの歴史をたどる。	2021年 9月17日(金)～11月21日(日)
生誕100年 矢崎源九郎を読む アンデルセン童話を翻訳した県出身の矢崎源九郎の生誕100年を記念して、残された多くの児童文学の翻訳作品や著作等を紹介し、その足跡をたどる。	2022年 2月4日(金)～4月3日(日) (予定)

◇文学者の誕生日にちなんだ資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらうことを目的として、資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
土橋治重 (4月25日生まれ)	2021年4月16日(金)～5月7日(金)
熊王徳平 (6月15日生まれ)	2021年6月11日(金)～7月1日(木)
保坂耕人 (8月27日生まれ) ※	2021年8月27日(金)～9月16日(木)
与野野晶子 (12月7日生まれ)	2021年11月26日(金)～12月16日(木)
井伏鱒二 (2月15日生まれ)	2022年1月28日(金)～2月17日(木)
曾根崎保太郎 (3月11日生まれ)	2022年3月11日(金)～3月31日(木)(予定)

※「保坂耕人」の展示についてはコロナウイルス感染状況悪化し、休館中のため実施せず
その他、講演、講演会開催時に講師の著作や、七夕、クリスマス、新年賀年にならむ資料紹介を行った。

◇書庫見学

職員が書庫内を案内し、収蔵資料、保管状況などを解説し、文学館の役割、閲覧室の利用方法の周知を図る。内容：書庫見学、画像情報システム端末・文献検索システム端末操作説明など
第1回 2021年6月5日(土) / 第2回 2021年11月20日(土) 県民の日 午前・午後各1回
※上記の日程で開催を予定していたが、コロナ禍にあり三密が避けられないため中止

◇蔵書点検 2021年10月5日(火)～10月20日(木) 今年度は図書の見直しを実施した。

◇TRC図書発送

第1回 2021年5月27日(木) / 第2回 2021年9月9日(木) / 第3回 2021年11月25日(木)
第4回 2022年2月24日(木)(予定)

◇閲覧室トーク

平日の来館者に向けて、職員が閲覧室の利用案内や貴重資料を紹介するトークイベントを実施し、閲覧室のPRを図る。※昨年度に続き書庫見学の事業がコロナのため実施の見通しが立たなかったため、場所を閲覧室とし、参加人数を1回につき5名程度までに限定し計画。
第1回 2021年11月4日(木) 参加者1名 / 第2回 2021年11月11日(木) 参加者2名
第3回 2021年12月2日(木) 参加者6名 / 第4回 2021年12月9日(木) 参加者7名
午後1時30分から約20分間

◇芸術の森公園活性化事業

整備を終えた芸術の森公園、本物の芸術に触れることが出来る文学館・美術館、さらに和の空間である素心菴について、インスタ映えする撮影スポットとしての魅力をPRし、利用を促す契機とするためイベントを実施。実施にあたり、山梨県立大学の学生の協力を得て若者向けのイベントを企画し、撮影スポットマップを共同で作成した。

- ・県立大学生と文学館職員SPSとの意見交換会 2021年6月11日(木)
- ・県立大学生の公園内撮影会(撮影スポットマップ作成のため) 2021年7月8日(木)
- ・第1回「フォトスポットin芸術の森公園 ～浴衣ならもっと楽しい!～」
月日：2021年8月22日(日) ※県内のコロナウイルスの感染状況悪化し、休館となり中止
内容：素心菴を開放し浴衣での撮影を楽しめる自撮り撮影会、公園内の撮影スポットマップの配布
- ・第2回「フォトスポットin芸術の森公園 秋はカラフル&ミステリー!」
月日：2021年11月3日(水・祝)

内容：素心菴を中心に公園の紅葉狩りと謎解き(パズルやクイズ)を楽しむイベントを実施。
(SPS事業として、素心菴内で撮影スポットのジャンボフワワー設置、ネイルアート体験)

参加者：224名

令和4年度 資料情報課事業計画

◇閲覧室資料紹介

所蔵資料を紹介・展示することにより、利用者が直接手に取って利用できる資料を増やし、開かれた文学館のイメージの定着と閲覧室の活性化を図る。
また、閲覧室の機能の周知と利用促進及び資料収集の推進を図ることを目的とする。

展示名及び概要	展示期間
芥川龍之介再発見 特設展「芥川龍之介展 生誕 130 年」の内容に連動した図書、雑誌、関連資料の展示を通じて、様々な角度から芥川を紹介する。	2022 年 4 月 23 日 (土) ～ 6 月 19 日 (日)
文芸誌・同人誌いろいろ 特設展「文芸雑誌から ZINE へ」にあわせて、当館所蔵の貴重な文芸誌、県内の高校生、大学生が作成した雑誌、様々な同人誌などを紹介する。	2022 年 7 月 16 日 (土) ～ 8 月 28 日 (日)
今に生きる一葉 企画展「樋口一葉展 生誕 150 年」にあわせて、一葉の著作、研究資料、関連資料、一葉が登場する小説などを幅広く紹介する。	2022 年 9 月 17 日 (土) ～ 11 月 23 日 (水)

※ 展示名は仮称

◇山梨の文学者資料紹介

本県出身・ゆかりの文学者を身近に感じてもらおうことを目的として、著作や関連資料を紹介する。

展 示 名	展 示 期 間
信玄公祭り関連事業 文学者が描く武田信玄と武田家	2022年4月6日(水)～4月21日(木)
鳴山草平 生誕120年・没後50年	2022年6月22日(水)～7月14日(木)
誕生日にちなんだ資料紹介 保坂耕人(8月30日生まれ)	2022年8月30日(火)～9月15日(木)

その他、七夕など季節にちなんだ展示や当館主催の講座・講演会の講師の著作、関連資料等の紹介を行う。

◇ 閲覧室トーク

職員が閲覧室の利用方法やサービスなどを紹介し、文学館及び閲覧室の周知を図る。
(これまで「書庫開放」として利用者へ書庫の案内を行っていたが、新型コロナウイルス感染症防止の観点から令和4年度は、閲覧室の案内に変更する)

内容：閲覧室の紹介、画像情報システム端末・文献検索システム端末の操作説明、書庫内の資料の紹介など

定員：10名程度

時間：30分程度(午後開催予定)

第1回 2022年 5月 5日(木・祝日)

第2回 2022年 6月 5日(日)

第3回 2022年 8月11日(木・祝日) 山の日

第4回 2022年11月20日(日) 県民の日

◇ 書庫整備

書庫で使用する電動書架の新製品への入れ替えを行う。
(大規模な作業となるため書庫での蔵書点検は延期とする予定)

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

単位:件 (R3.12.31現在)

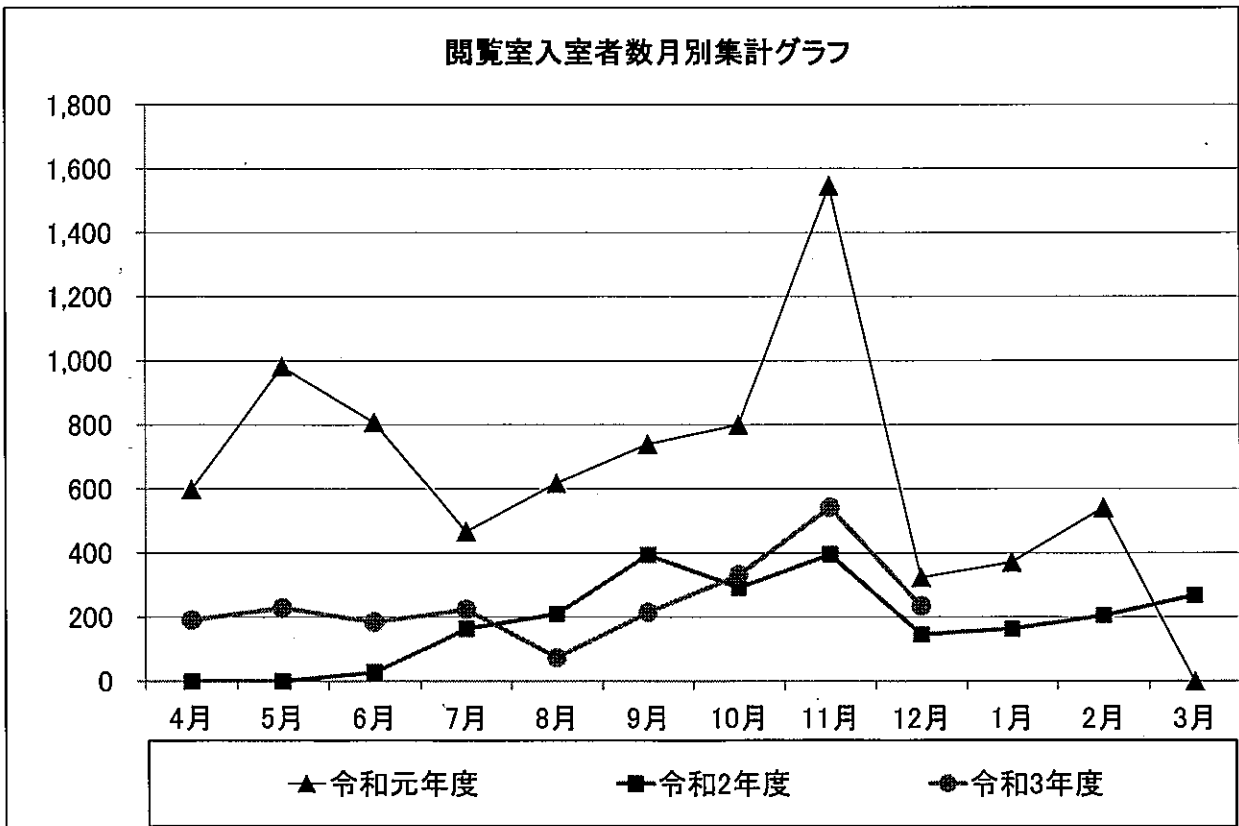
	開館日数	入室者	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
令和元年度	252	7,257	89	310	2,031	829	3,694	0	925	684
令和2年度	231	2,268	34	211	449	743	2,045	0	277	261
令和3年度	203	2,228	38	184	445	576	923	0	320	357

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (R3.12.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
令和元年度	599	982	808	467	618	740	801	1,546	324	372	542	0	7,799	29
令和2年度	0	0	28	164	210	395	292	396	146	164	205	268	2,268	10
令和3年度	191	229	185	224	74	215	332	543	235				2,228	11

閲覧室入室者数月別集計グラフ



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (R3.12.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均 件数
令和元年度	62	86	102	64	89	86	83	145	66	46	52	7	888	3
令和2年度	13	32	32	84	68	58	85	72	45	54	93	107	743	3
令和3年度	52	82	53	88	29	57	58	80	77				576	3

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (R3.12.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均 枚数
令和元年度	564	484	449	48	525	180	148	1,029	47	220	418	144	4,256	15
令和2年度	0	46	17	313	453	382	225	62	104	89	234	120	2,045	9
令和3年度	22	173	28	350	80	80	11	133	46				923	5

文学館の観覧者数の推移

常設展及び企画展の観覧者の状況は、次のとおりである。

年度	開館日数	常設展観覧者数	企画展観覧者数	合計
H1	34	10,008	42,544	52,552
2	298	79,124	20,233	99,357
3	296	59,616	22,059	81,675
4	292	46,945	21,047	67,992
5	291	41,812	8,271	50,083
6	290	44,279	29,874	74,153
7	294	35,409	14,885	50,294
8	294	31,536	16,804	48,340
9	291	29,730	8,205	37,935
10	293	32,209	15,433	47,642
11	296	20,652	9,832	30,484
12	299	19,258	7,786	27,044
13	225	17,901	10,259	28,160
14	301	19,487	8,805	28,292
15	302	18,641	8,535	27,176
16	302	18,117	12,790	30,907
17	303	15,008	7,232	22,240
18	311	16,084	7,116	23,200
19	311	19,676	9,795	29,471
20	307	14,908	9,416	24,324
21	295	19,374	13,993	33,367
22	307	21,085	17,983	39,068
23	311	17,280	8,371	25,651
24	311	24,660	4,641	29,301
25	306	23,749	5,620	29,369
26	308	41,209	39,356	80,565
27	310	18,763	4,758	23,521
28	306	18,358	6,315	24,673
29	304	22,121	4,121	26,242
30	303	19,736	4,698	24,434
R1	274	22,538	11,466	34,004
R2	258	15,591	13,628	29,219
R3	203	11,237	5,599	16,836
計	9,426	866,101	431,470	1,297,571

12月末現在

令和3年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	971	37
5	26	1,451	56
6	27	1,177	44
7	27	1,269	47
8	6	280	47
9	16	666	42
10	27	1,798	67
11	25	2,909	116
12	23	716	31
1			
2			
3			
計	203	11,237	55

令和2年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	0	0	0
5	9	60	7
6	25	520	21
7	27	967	36
8	27	1,097	41
9	26	2,226	86
10	27	3,077	114
11	25	4,018	161
12	22	407	19
1	20	592	30
2	24	1,026	43
3	26	1,601	62
計	258	15,591	60

12月まで	188	12,372	66
-------	-----	--------	----

前年同期比 90.8%

※R2.2.28～R2.5.21、R3.8.8～R3.9.12は新型コロナウイルス感染症の

拡大防止のため、展示室を休止

観覧者(常設展+企画展+特設展+新収蔵品展)

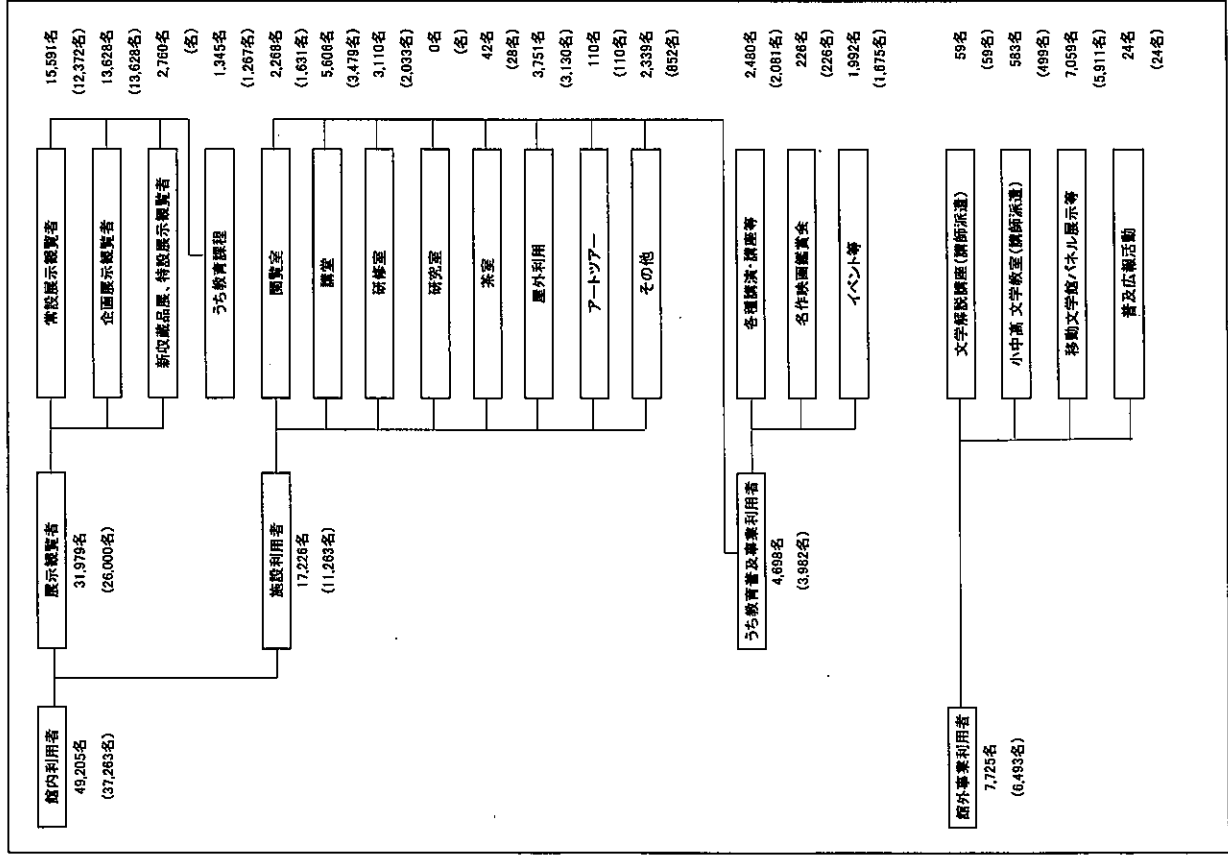
合計 1,628,243名

特設展観覧者数 253,509

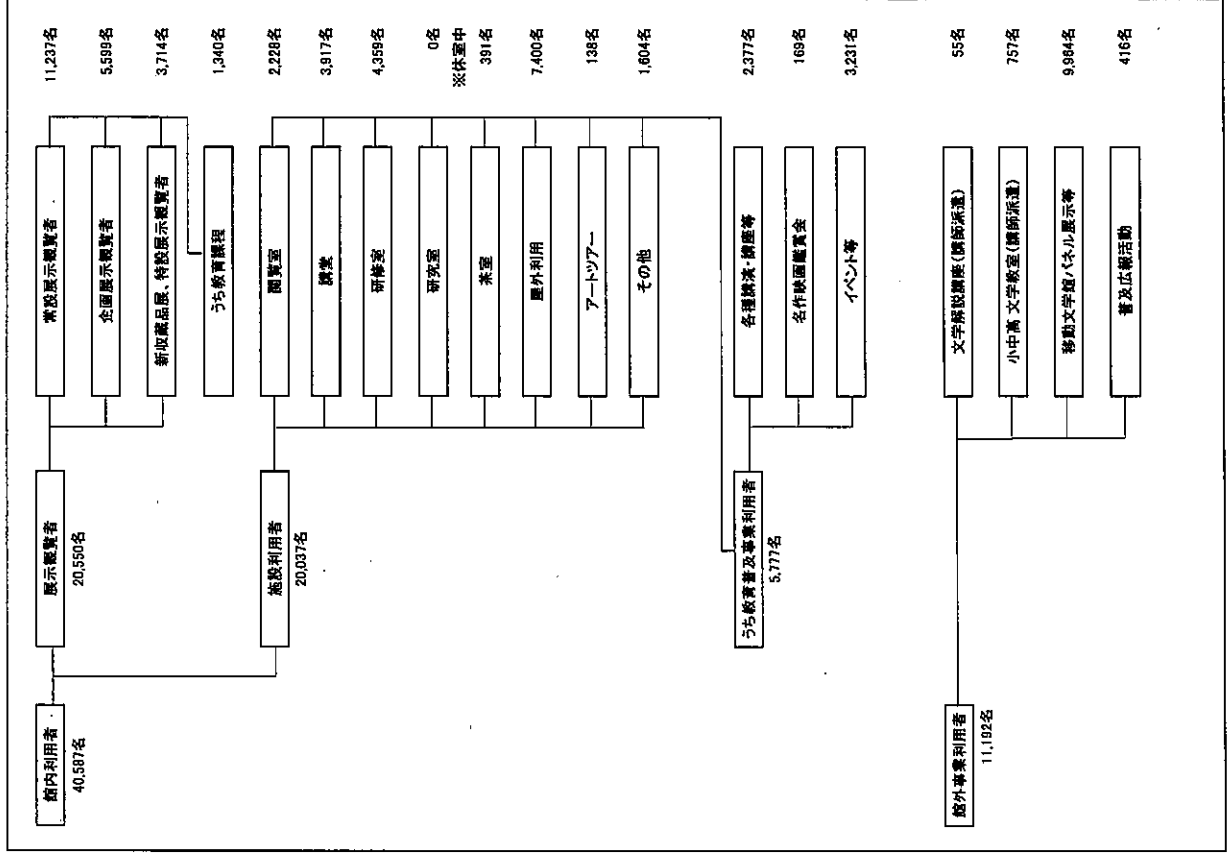
新収蔵品展観覧者数 77,163

文学館における「利用者」の状況

令和2年度実績。()内は令和2年12月末時点



令和3年12月末現在



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業、活動に参加したすべての対象者をいいます。

企画展観覧者数

年度	企画展名	開催日数	観覧者数	1日平均
H1	山梨の文学	87	42,544	489
2	書簡の文学	51	9,877	194
3	樋口一葉展	33	10,356	314
3	旗の文学	33	4,694	142
3	芥川龍之介展	48	17,365	362
4	与謝野晶子と明星	38	9,471	249
4	飯田龍彦展	56	11,576	207
5	現代の女性作家	42	8,271	197
6	山崎代展	54	6,020	111
6	中村孝湖展	54	5,842	108
6	近代文学とミレ一展	51	18,012	353
7	井伏鱒二	68	10,294	151
7	中冬二展	43	4,591	107
8	宇野千代の世界	33	8,865	269
8	北巨磨の文学	93	7,939	85
9	前田香・田山花袋・窪田空穂	56	3,448	62
9	現代歌人の集	56	4,757	85
10	画文交響 飯田龍彦をめぐる画人たち	55	8,334	152
10	山本周五郎の世界	56	7,099	127
11	やまなし・女性の文学	56	4,586	82
11	山梨の文学-21世紀へ-	91	5,246	58
12	画文交響 明治末期から大正中期へ	56	2,835	51
12	太宰治と樽一雄	56	4,951	88
13	重目漱石展	57	5,853	103
13	富士百景	54	4,406	82
14	芭蕉展	33	4,297	130
14	松本清張と木々高太郎	56	4,508	81
15	中里介山「大菩薩峠」の世界	57	3,514	62
15	芥川龍之介と菊池寛・久米正雄	56	5,021	90
16	樋口一葉展 I	44	4,165	93
16	樋口一葉展 II	55	8,625	157
17	「赤い鳥」と「少年倶楽部」の世界	52	3,090	59
17	山の文学展	56	4,142	74
18	辻邦生展	53	2,902	55
18	正岡子規とその時代	53	4,214	74
19	高村光太郎「いのちと夢の軌跡」	53	4,792	90
19	宮沢賢治「若き日の手紙」	53	5,003	94
20	芥川龍之介の手紙 敬愛する友 恒藤恭へ	53	3,178	60
20	飯田龍太郎展	53	6,238	118
21	太宰治展	52	7,544	145
21	樋口一葉と甲州	59	6,449	109
22	山崎代展	50	3,589	72
22	くららからチッタクまで-小学校国語教科書にのった思い出のお話展	31	10,495	339
22	井伏鱒二と飯田龍太郎	53	3,899	74
23	文芸映画のたのしみ	45	4,042	90
23	深沢七郎の文学	47	4,329	92
24	石川啄木	52	4,641	89
25	与謝野晶子展	53	5,620	106
26	村岡花子展	69	34,844	505
26	谷崎潤一郎展	54	4,512	84
27	俳句百景展	60	4,758	79
28	北杜夫展	59	6,315	107
29	津島佑子展	53	4,121	78
30	喜野中心平展	56	4,698	84
R1	宮沢賢治展	55	11,466	208
R2	林眞理子展	64	13,628	213
R3	ミステリーの系譜	57	5,599	98
	計	3,077	431,470	140

特設展観覧者数

年度	名称	開催日数	観覧者数	1日平均
H2	「山梨と高浜虚子」	33	8,785	266
3	「辻屋外と嵐外十哲」	33	8,996	273
3	「たけくらべの世界」	36	10,378	288
3	「映画と文学」	36	9,814	273
3	「文学者の顔面と年賀状 子規がいて、漱石がいて、さうして…」	22	2,827	108
4	「新取巻資料より「近世の佳人 五味可都里と辻屋外」	48	12,152	253
4	「佐野四郎の世界-富士見ゆる丘より」	54	6,050	123
5	「やまなしの自然と文学」	56	6,973	125
5	「五味可都里と蟹守の周辺」	53	8,648	163
5	「芥川龍之介 草稿の世界」	66	8,978	134
5	「野尻抱影 書簡の世界」	51	5,519	108
6	「歌人の手紙」	33	4,220	128
7	「やまなし文学賞の受賞者たち」	44	3,756	85
7	「中村孝湖への手紙」	56	3,324	59
8	「『豹・オパール』の詩人たち -宮田梅夫資料より-」	24	1,861	78
8	「蛇笏山脈の人々 -西島孝南・松村蒼石・榎本虎山-」	57	3,029	64
9	「芥川龍之介の草稿」	55	5,932	108
9	「村松定孝氏収集」	32	1,274	40
10	「男書文学-山梨ゆかりの作家群-」	50	3,778	76
10	「鶴山善平資料」	23	757	33
11	「山岳園 蓮名善屋 -百瀬源太郎コレクションより-」	41	4,202	102
12	「脚本家 菊島隆三と竹内真太郎」	34	2,019	59
12	「山梨の文芸誌-大正から昭和初期」	42	1,088	25
13	「やまなしの児童文芸 -『赤い鳥』『金の船』『童話を中心に-」	41	2,088	51
13	「山梨の文芸誌-戦後から現代まで-」	41	1,121	27
14	「足立源一郎『日本の山脈』スケッチ画と山の文学	66	4,013	61
15	「山梨の農民文学	38	1,947	51
16	「山崎方代 歌と書の世界	27	2,862	106
17	「山梨のアララギ里歌人展 伊藤玄千夫・三井甲之・海峯健村・岡千重・日原無照を中心に	34	1,393	41
18	「赤毛のアン」の世界へ	33	4,138	125
19	「天をめぐる物語 宮沢賢治『銀河鉄道』の夜」	32	4,100	124
20	「すべての子どもたちへ 芥川龍之介『蜘蛛の糸』	33	2,909	91
21	「H-Cアンデルセン/人魚のお姫さま』青い瞳の涙-」	30	3,027	101
21	「取巻名品展 (常設展観覧資料で展せた)	44	3,007	68
23	「手紙をきこう 作家の手紙をお手本に	35	2,866	77
23	「樋口一葉 山梨への手紙	32	2,127	66
24	「フランドーの犬	33	5,034	153
24	「飯田龍彦展	53	6,553	124
24	「至宝展 (国文祭関連で常設展観覧資料で見せた)	54	3,490	65
25	「富士山と文学	63	4,949	72
25	「かいけつツロリア展	33	8,621	261
26	「本のおしゃべり展 (特別コーナー-村岡花子と柳原白蓮)	34	10,309	303
27	「田中冬二展 なつかしい日本の風景	50	3,695	74
27	「芥川龍之介の夏休み	41	4,661	114
28	「辻屋外 甲州の近世俳人	46	2,514	55
28	「宮沢賢治 保原藩内への手紙	47	5,367	114
29	「阪後50年 山本周五郎展	45	3,920	87
29	「作家のデビュー展	44	8,322	189
30	「生誕120年 井伏鱒二展	45	3,916	87
30	「童話の花車 子どもたちへの贈り物	39	5,242	134
R1	「太宰治 生誕110年	51	7,225	142
R1	「山と水の文学	39	3,263	84
R2	「飯田龍太郎展 生誕100年 ※コロナの影響で春から冬へ延期	50	2,760	55
R2	「文学の中の富士山 ※コロナの影響でR3年度へ延期	-	-	-
R3	「作家の愛用品	50	2,709	54
R3	「文学の中の富士山 ※コロナの影響で会期短縮	19	1,005	53
	計	2,301	253,509	110

山梨県文学館協議会委員名簿

任期：令和3年9月29日～令和5年9月28日

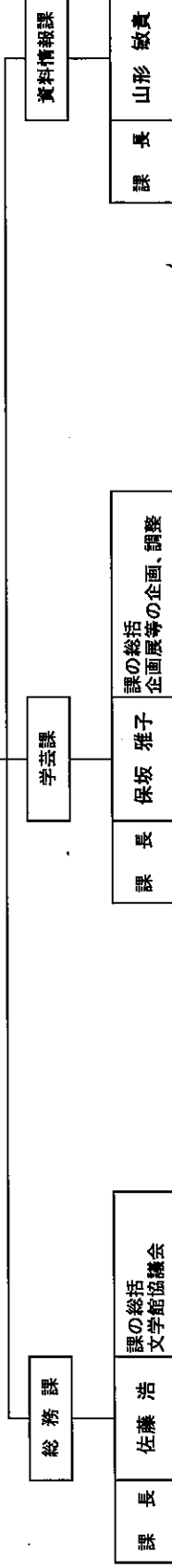
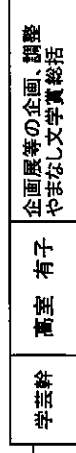
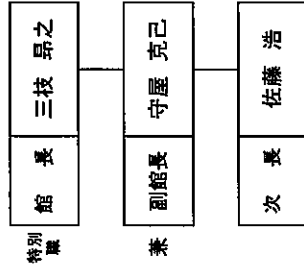
区分	氏名	役職	出身分野（勤務先等）
委嘱	三澤 真人	甲府青年会議所理事長	社会教育関係
"	西田 遙	NPO法人河原部社理事長	社会教育関係
"	中島 利夫	山梨文芸協会委員	学識経験者（山梨文芸協会事務局次長）
"	杉原 克彦	報道関係	学識経験者（山梨日日新聞社論説委員長）
"	塩澤 充正	報道関係	学識経験者（テレビ山梨報道制作局長）
"	藤原 和昭	報道関係	学識経験者（NHK甲府放送局副局長）
"	長谷川 千秋	山梨大学教授	学識経験者
"	廣瀬 孝嘉	元山梨県教育長	学識経験者
"	出澤 忠利	印傳博物館 運営委員	学識経験者
"	仲田 道弘	やまなし観光推進機構理事長	学識経験者
"	大塚 茂	山梨県書店商業組合理事長	学識経験者（柳正堂書店代表取締役社長）
"	秋山 和江	公募委員	家庭教育関係者
"	河崎 葵	公募委員	家庭教育関係者
任命	石川 等	県公立小中学校長会代表	学校教育関係（中央市立三村小学校長）
"	小尾 きよこ	県高等学校長協会代表	学校教育関係（山梨高校長）

文学館組織図

令和3年4月1日現在

県立文学館				
所属名	再任用 短時間	特別職 非常勤職員	会計年度 任用職員	合計
正規職員	11	1	8	21
(兼3)			(兼1)	(兼4)

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務



学芸担当

職名	氏名	主たる業務
リーダー 学芸員	中野 和子	担当の総括 企画展・常設展の実 施、特殊資料の整理 公開
学芸員	伊藤 夏穂	企画展・常設展の実 施、特殊資料の整理 公開
会計年度 任用職員	雨宮 弘志	ボランティアの育成・ 指導等
会計年度 任用職員	佐藤 明子	特殊資料の整理公開
会計年度 任用職員	松井 あすか	業務補助

教育普及担当

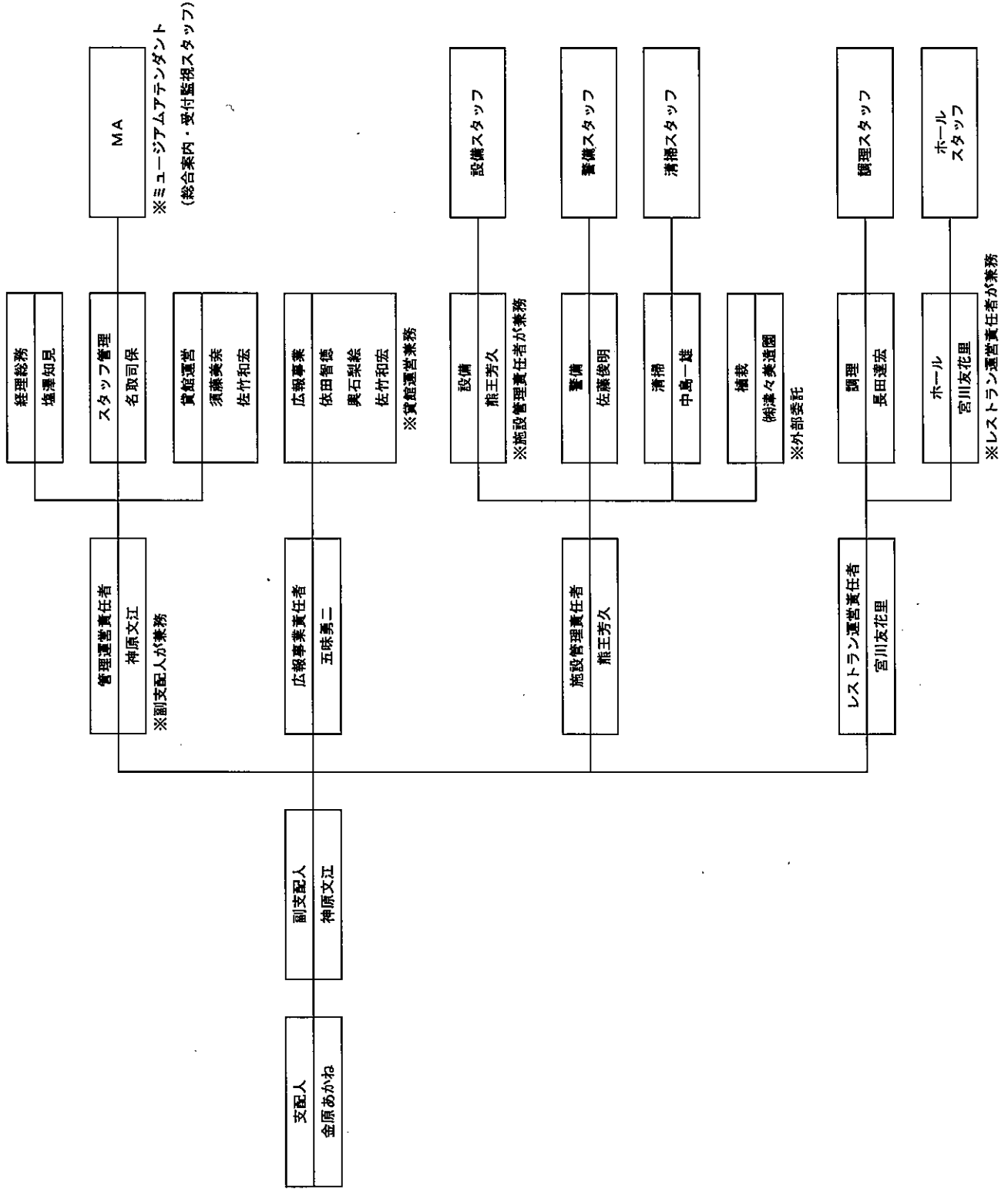
職名	氏名	主たる業務
リーダー 主幹	中山 聡子	担当の総括 学校教育・生涯学習機 関との連携・協力、教育 普及及事業
副主幹	清水 恵美	学校教育・生涯学習 機関との連携協力、教 育普及事業
副主査	奥脇 智英	学校教育・生涯学習 機関との連携協力、教 育普及事業

文学館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会 職員	千国 ちふみ	協力会業務

職名	氏名	主たる業務
リーダー 副主幹	日下部 光代	担当の総括 図書、逐次刊行物の 評価・公開
副主査	中島 桂子	文献検索システム、情 報ネットワーク・インタ ラ事業の維持管理
専門員	水上 百合子	資料等の整理 所蔵データの整備 閲覧室カウンター業務
会計年度 任用職員	瀧田 夏希	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度 任用職員	内藤 るか	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度 任用職員	白倉 美紀子	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度 任用職員	志村 彩夏	資料等の整理 閲覧室カウンター業務

※副館長及び総務課職員は、美術館勤務で文学館と兼務



○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第三百八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担当事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

2~4 （略）

第三条 （略）

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

4 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、特別委員、専門委員又は臨時委員（以下「特別委員」と総称する。）を置くことができる。

5 特別委員は、執行機関の規則で定めるところにより、知事が任命し、又は委嘱する。

（会長等）

第五条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（部会等）

第七条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

第八条 （略）

（委任）

第九条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

別表第一（第二条、第四条関係）

一 知事の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県立文学館	博物館法第三十條第三項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及びその実施に関する事務	六人以上	一 学識経験のある者 二 優れた識見を有する者	二年
山梨県立文学館専門委員会	山梨県立文学館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施に関する事業に関する調査審議に関する事務	六人以内	一 学識経験のある者 二 優れた識見を有する者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋） 山梨県規則第八号

(趣旨)

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例(昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(補欠の委員の任期)

第二条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第三条 (略)

(会長等)

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関(次に掲げる附属機関を除く。)に会長を置く。

2~3 (略)

(定足数の特例)

第五条 条例第六条第二項の規定で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県立美術館協議会	過半数
山梨県考古博物館協議会	過半数
山梨県文学館協議会	過半数

第六条~第七条 (略)

(資料の提出等の要求)

第八条 附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

(意見の開陳)

第九条 関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

第十条~第十一条 (略)

(庶務)

第十二条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

(委任)

第十三条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮って定める。

○博物館法（抜粋）

(所管)

第十九条 公立博物館は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長がその設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされた博物館にあつては、当該地方公共団体の長。第二十条一条において同じ。)の所管に属する。

(博物館協議会)

第二十条 ~~公立博物館は、博物館協議会を置くことができる。~~

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第二十一条 博物館協議会の委員は、当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第二十二条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、当該博物館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。